

# 大田区政に関する世論調査

平成 23 年 1 月実施  
(概要版)

大田区では、区民の皆様のご意見を伺う方法の一つとして、昭和49年から「大田区政に関する世論調査」を実施しています。この小冊子は、その調査結果の概要をお知らせするものです。  
調査にご協力いただいた皆様に心からお礼申し上げます。

平成 23 年 3 月

大田区経営管理部区民の声課

## 調査概要

対象者・区内に居住する満20歳以上の男女個人  
対象数・2,000人  
回収数・1,195人(回収率・59.8%)  
有効回収数・1,138人(有効回収率・56.9%)  
回収不能数・805人  
抽出方法・層化二段無作為抽出法  
調査方法・郵送調査

## グラフの見方

- ・ n はその設問の回答者数を表す。
- ・ 集計は小数点以下第2位を四捨五入してあるので、合計が100%にならない場合がある。
- ・ 複数回答の場合は、合計が100%を超えることがある。

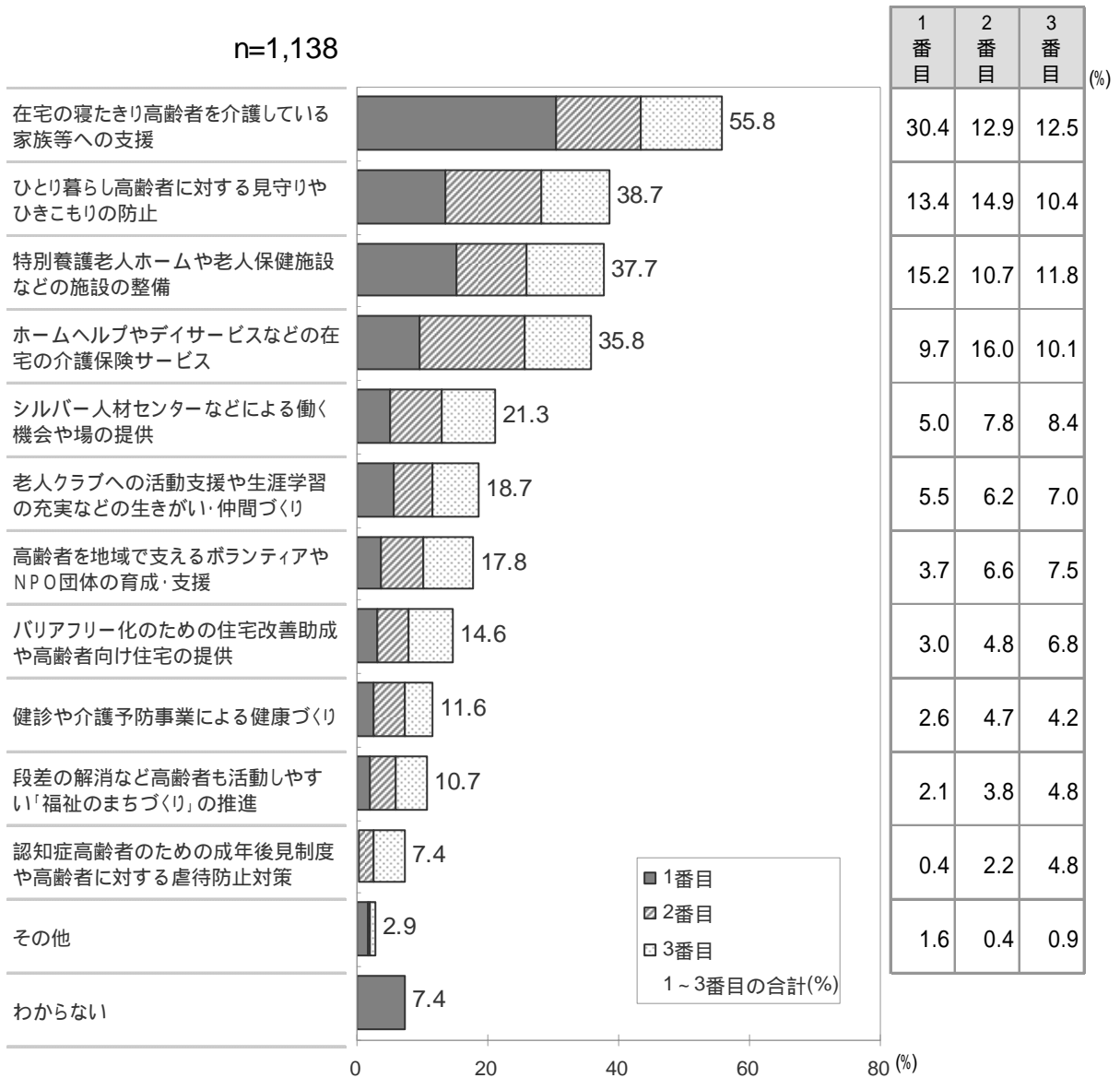
## 《調査の内容》 印は本誌に取り上げたもの

- 1 高齢者対策
  - (1) 高齢者が地域で安心して暮らしていくために必要だと思う施策 【p.2】
  - (2) 高齢者が地域で安心して暮らしていくために協力できる地域活動
- 2 防災対策
  - (1) 住宅の種類
  - (2) 現住居の建築時期
  - (3) 大地震発生時の現住居倒壊に対する不安感 【p.3】
  - (4) 防災対策の実施状況 【p.3】
  - (5) 耐震診断や耐震改修工事を行っていない理由
  - (6) 耐震診断や耐震改修工事の費用の一部助成や有利子融資制度の認知 【p.4】
- 3 緑化推進・省エネ推進
  - (1) エコライフ活動・緑化活動推進のための一部助成の認知 【p.4】
  - (2) 今後検討している自宅におけるエコライフ活動・緑化活動
- 4 清掃・リサイクルの推進
  - (1) ごみ減量のために工夫していること 【p.5】
- 5 生活環境の満足度
  - (1) 生活環境の満足度 【p.6】
  - (2) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度 【p.7】
  - (3) バリアフリーの視点で進めるまちづくりに関して広報や啓発活動が必要だと思う取り組み
  - (4) バリアフリーの視点で進めるまちづくりに関して特に整備すべき場所 【p.7】
  - (5) バリアフリーの視点で進めるまちづくりに関して特に整備すべき場所で必要だと思う取り組み
- 6 国際化推進
  - (1) 外国人と共に暮らすために必要な取り組み 【p.8】
  - (2) 多文化共生、国際交流の進ちょく度 【p.9】
- 7 自治会等の地域活動について
  - (1) 「地域力」の認知度 【p.9】
  - (2) 参加したことがある地域活動 【p.10】
  - (3) 地域活動への参加状況
  - (4) 地域活動に参加していない理由
  - (5) 地域活動を活発にするために必要な支援 【p.11】
- 8 子育て関連施設の整備
  - (1) 子育て支援のために優先して取り組むべき施策 【p.12】
  - (2) 子どもに関する施設・サービスの利用状況
  - (3) 特に充実させてほしい子どもに関する施設やサービス 【p.13】
- 9 保健・健康対策
  - (1) 食品の安全性について不安を感じる事 【p.14】
- 10 交通安全対策
  - (1) 実践している交通安全対策 【p.15】
- 12 特に力を入れてほしい施策
  - (1) 施策要望 【p.16】
  - (2) 最も力を入れてほしい施策 【p.16】
  - (3) 大田区窓口対応の満足度
  - (4) 大田区窓口対応の重視度
  - (5) 区の制度・施策・施設の認知度 【p.17】
  - (6) 大田区の好きなところ 【p.18】
  - (7) 今後の区政の進め方について
  - (8) 区の情報を得る手段 【p.19】
  - (9) 区報の配布方法の認知度
  - (10) 最も利用しやすい行事参加申し込み方法
- 11 定住性
  - (1) 居住開始時期
  - (2) 定住意向 【p.20】
  - (3) 住みたい理由 【p.20】

# 1 高齢者対策

## 高齢者が地域で安心して暮らしていくために必要だと思う施策

…「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」は5割以上



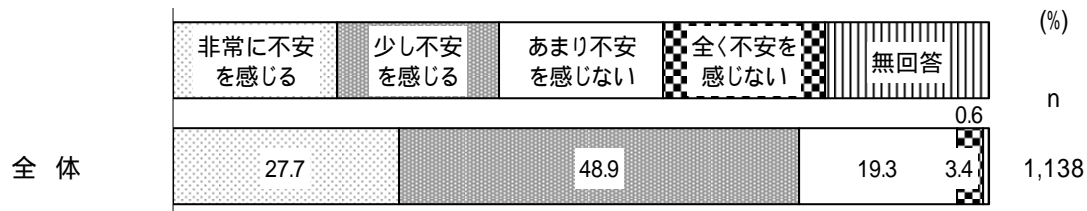
- ・ 「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」（55.8%）が5割半ばと最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者に対する見守りやひきこもりの防止」（38.7%）、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設の整備」（37.7%）、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅の介護保険サービス」（35.8%）の順となっている。
- ・ 1番目に必要だと思う項目の上位は、「在宅の寝たきり高齢者を介護している家族等への支援」（30.4%）、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設の整備」（15.2%）、「ひとり暮らし高齢者に対する見守りやひきこもりの防止」（13.4%）の順となっている。

## 2 防災対策

調査期間は平成 23 年 1 月であり、東北地方太平洋沖地震発生前でした。

### 大地震発生時の現住居倒壊に対する不安感

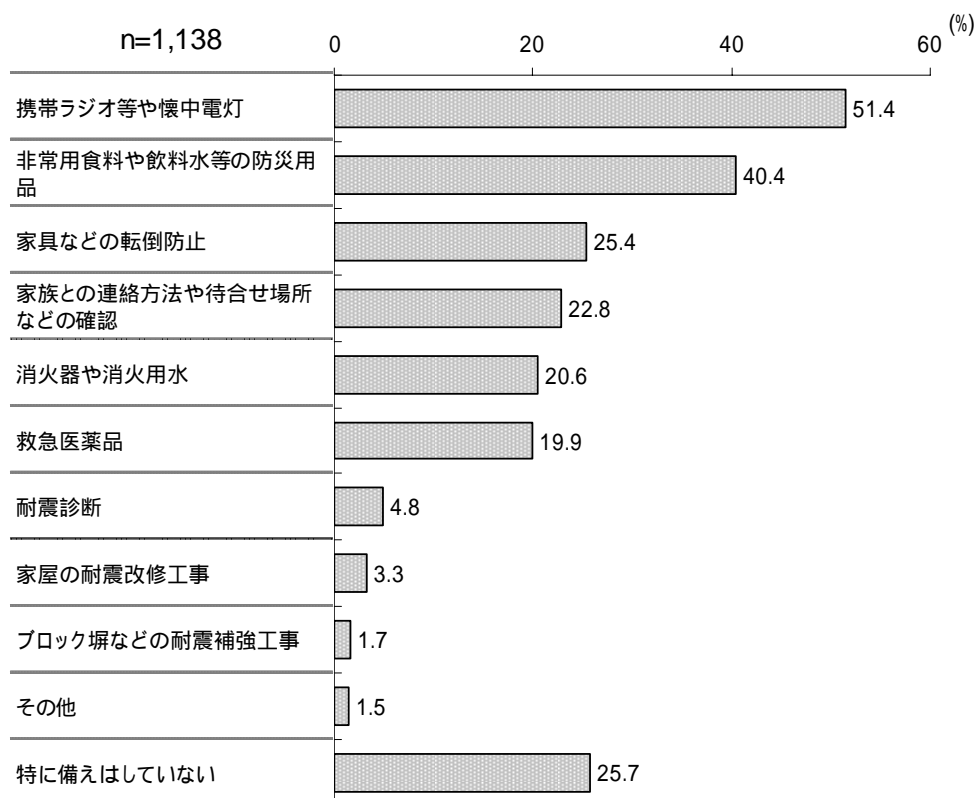
…『不安を感じる(計)』は8割近く



- 全体でみると、「非常に不安を感じる」(27.7%)が3割弱、「少し不安を感じる」(48.9%)が5割弱となっており、この2つを合わせた『不安を感じる(計)』(76.6%)は8割近くとなっている。

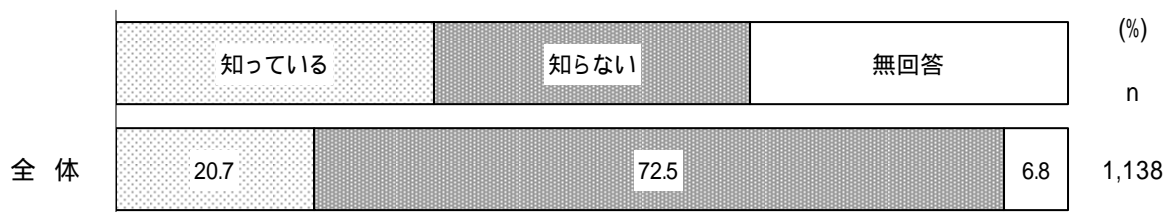
### 防災対策の実施状況

…何かしらの備えをしている人が全体の4分の3、一方で「特に備えはしていない」人は、全体の4分の1



- 全体でみると、「携帯ラジオ等や懐中電灯」(51.4%)が5割を超え最も高く、次いで「非常用食料や飲料水等の防災用品」(40.4%)、「家具などの転倒防止」(25.4%)の順となっている。

## 耐震診断や耐震改修工事費用の一部助成や有利子融資制度の認知 ... 「知っている」は約2割

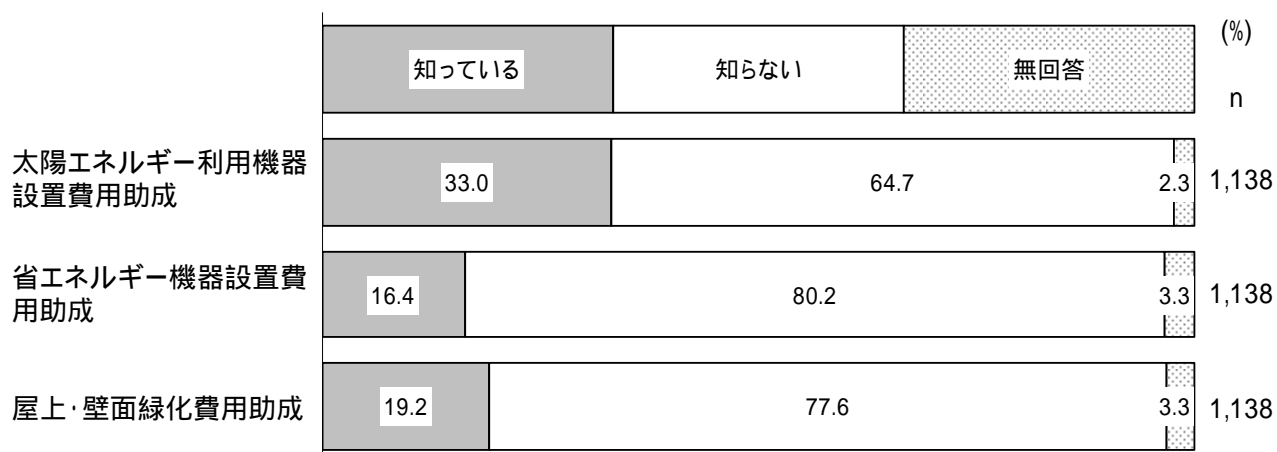


- ・ 全体で見ると、「知っている」(20.7%)がほぼ2割、「知らない」(72.5%)が7割を超えている。

## 3 緑化推進・省エネ推進

### エコライフ活動・緑化活動推進のための一部助成の認知

... 「知っている」は2割弱～3割強

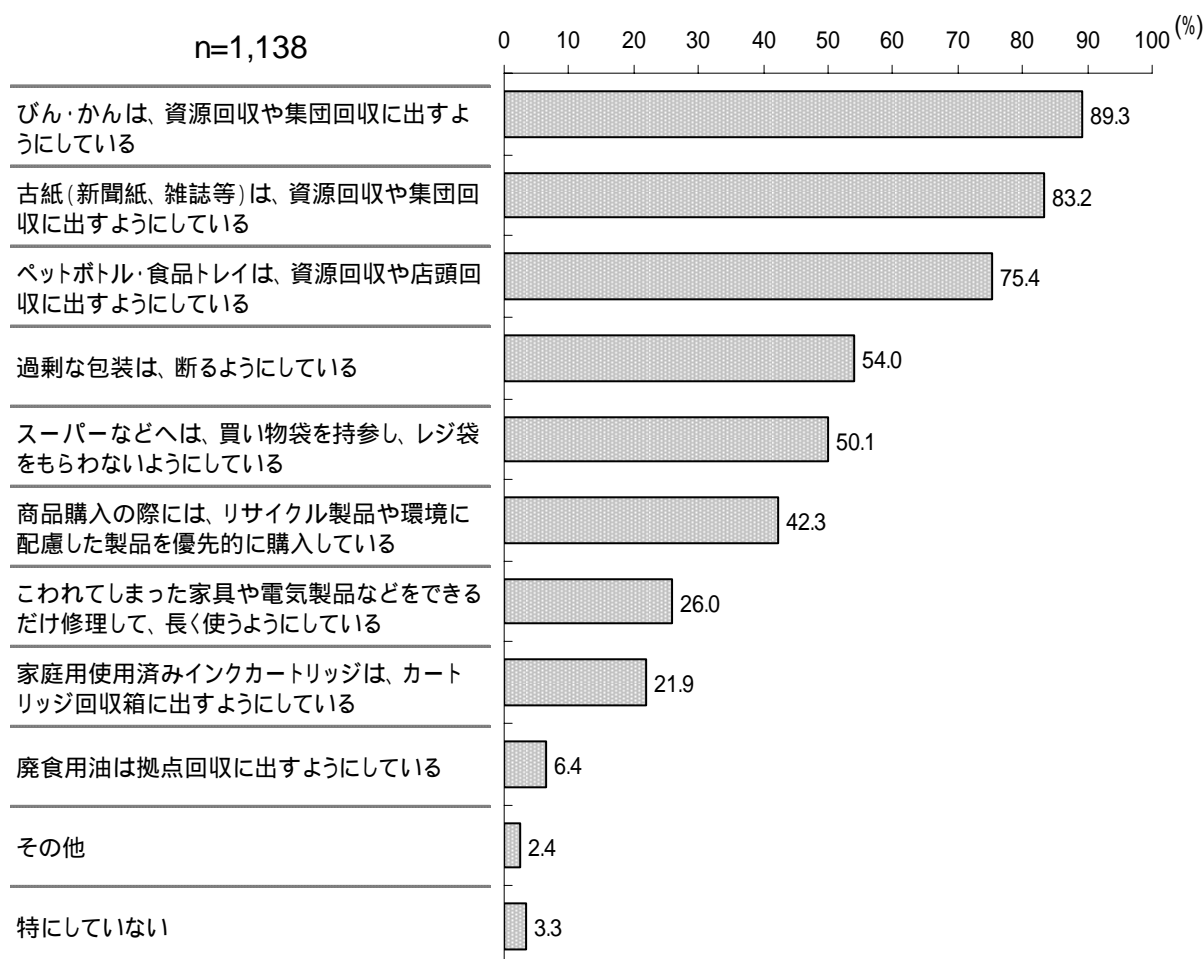


- ・ 全体で見ると、認知率が最も高いのは、「太陽エネルギー利用機器設置費用助成」(33.0%)、次いで「屋上・壁面緑化費用助成」(19.2%)、「省エネルギー機器設置費用助成」(16.4%)の順となっている。

## 4 清掃・リサイクルの推進

### ごみ減量のため工夫していること

…「びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」は約9割



- 全体で見ると、「びん・かんは、資源回収や集団回収に出すようにしている」(89.3%)が約9割で最も高く、次いで「古紙(新聞紙・雑誌等)は、資源回収や集団回収に出すようにしている」(83.2%)、「ペットボトル・食品トレイは、資源回収や店頭回収に出すようにしている」(75.4%)の順となっている。

## 5 生活環境の満足度

### 生活環境の満足度

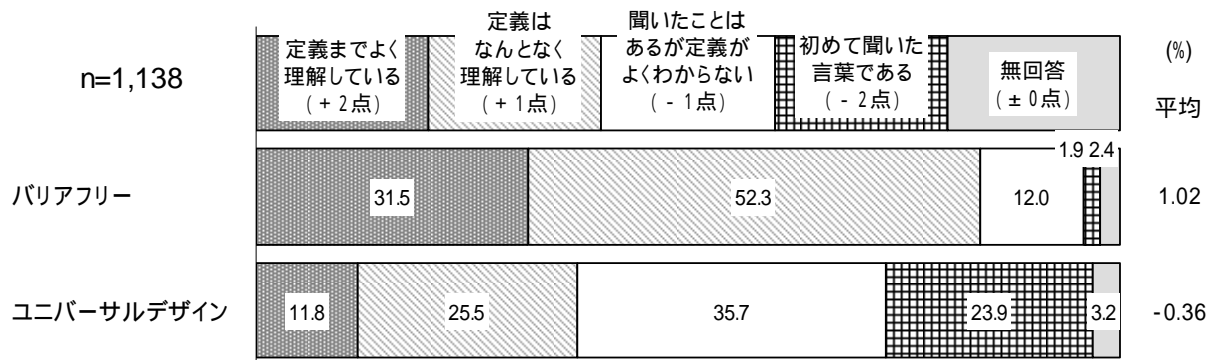
…全体としての「暮らしやすさ」は『満足(計)』が7割

n=1,138	満足度					平均
	満足している (+2点)	ほぼ満足している (+1点)	少し不満である (-1点)	不満である (-2点)	わからない (±0点)	
緑の多さ	11.5	41.7	23.4	15.6	7.7	0.11
道路の整備	10.7	45.4	24.6	13.7	5.5	0.16
公園や子どもの遊び場	8.0	33.8	26.8	16.2	15.2	-0.11
通勤・通学の便	24.2	44.7	13.0	6.7	11.4	0.75
買い物の便	25.5	48.5	15.2	7.9	2.9	0.70
家並み、町並み	12.7	46.9	23.0	8.3	9.0	0.36
交通の安全性	8.7	36.6	33.2	15.0	6.5	-0.10
災害時の安全性	4.1	24.3	30.8	15.5	25.3	-0.39
周辺環境の状況	8.2	44.9	26.2	10.2	10.5	0.16
治安のよさ	9.8	48.2	25.0	8.3	8.7	0.29
医者や病院の便	16.7	54.4	18.2	6.1	4.7	0.60
スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ	3.9	28.1	31.5	16.6	19.9	-0.36
あなたご自身の住宅事情	13.7	44.0	25.2	11.9	5.2	0.24
近所付き合い	8.5	50.4	16.7	6.3	18.1	0.46
バリアフリー	4.9	23.6	30.4	15.6	25.5	-0.38
全体としての「暮らしやすさ」	10.5	60.7	21.4	3.7	3.7	0.55

- ・ 総合満足度といえる<全体としての「暮らしやすさ」>については、「満足している」(10.5%)と「ほぼ満足している」(60.7%)を合わせた『満足(計)』(71.2%)が7割近くとなっている。個別の15項目についてみると、『満足(計)』は、<買い物の便>が7割半ばと最も高く、<医者や病院の便>と<通勤・通学の便>も約7割と高くなっている。「少し不満である」と「不満である」を合わせた『不満(計)』は、<交通の安全性>、<スポーツ・レクリエーション・文化施設の多さ>、<災害時の安全性>、<バリアフリー>、<公園や子どもの遊び場>で4割を超えている。

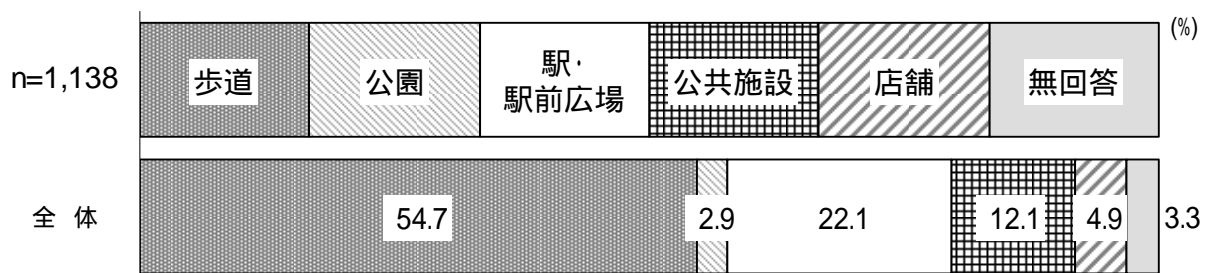
## 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

…「バリアフリー」は8割以上の認知度、「ユニバーサルデザイン」は4割弱の認知度



- ・「バリアフリー」については、「定義までよく理解している」(31.5%)と「定義はなんとなく理解している」(52.3%)を合わせた『理解している(計)』(83.8%)は8割以上となっており、高い認知度を示している。
- ・一方、「ユニバーサルデザイン」については、『理解している(計)』(37.3%)でも4割弱であり、半数以上に認知されていない。

## バリアフリーの視点で進めるまちづくりに関して特に整備すべき場所 …「歩道」の整備が5割以上を占める



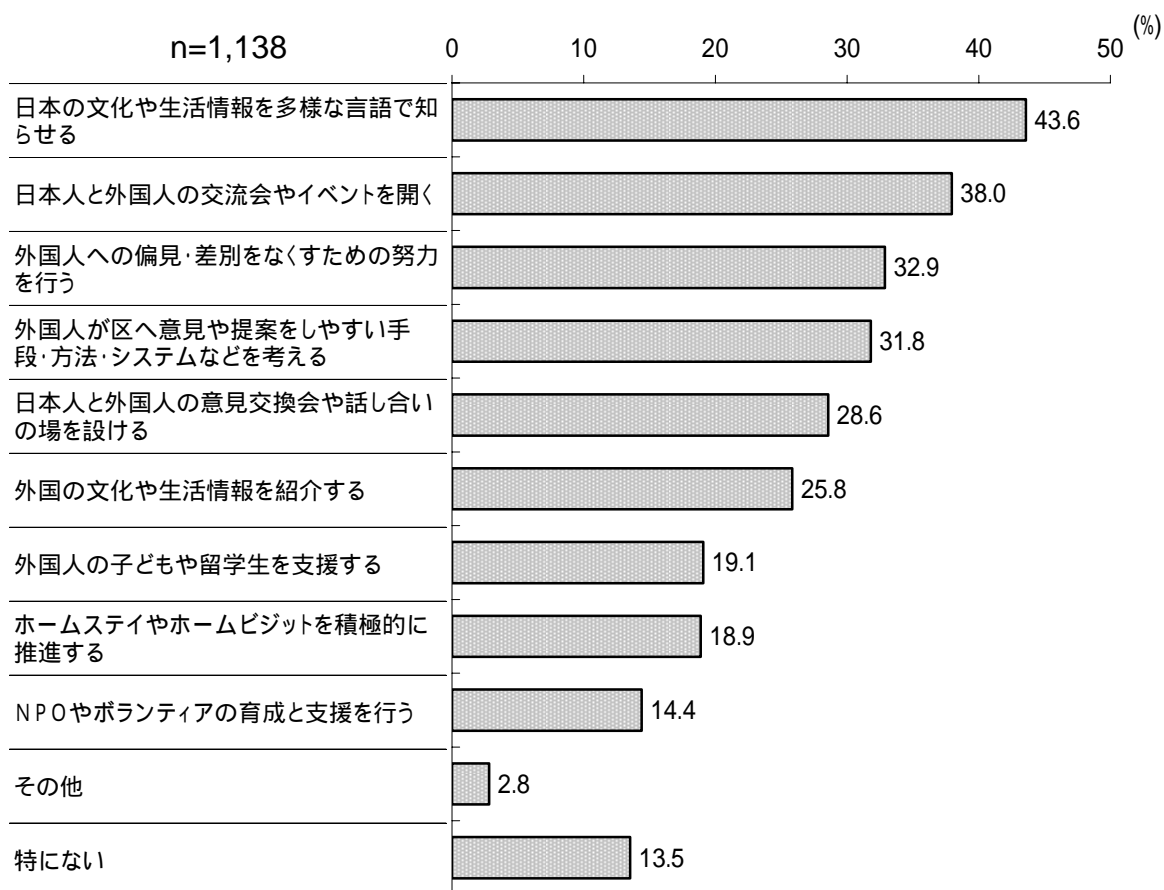
- ・全体で見ると、「歩道」が54.7%で半数以上を占めており最も高い割合となっている。次いで、「駅・駅前広場」(22.1%)、「公共施設」(12.1%)の順で続いている。



## 6 国際化推進

### 外国人と共に暮らすために必要な取り組み

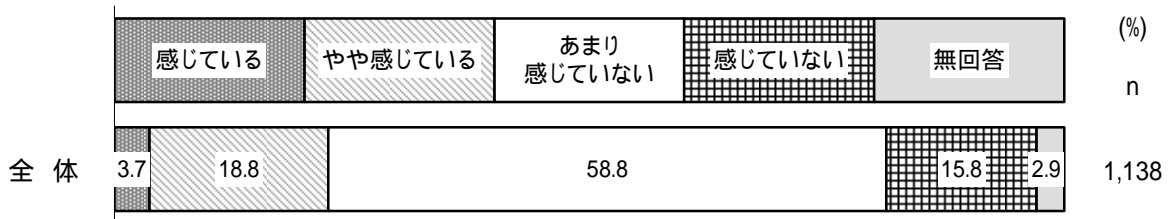
…「日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」は約4割



- ・ 「日本の文化や生活情報を多様な言語で知らせる」(43.6%)が最も高く、次いで「日本人と外国人の交流会やイベントを開く」(38.0%)、「外国人への偏見・差別をなくすための努力を行う」(32.9%)、「外国人が区へ意見や提案をしやすい手段・方法・システムなどを考える」(31.8%)、「日本人と外国人の意見交換会や話し合いの場を設ける」(28.6%)、「外国の文化や生活情報を紹介する」(25.8%)の順となっている。

## 多文化共生、国際交流の進ちょく度

…『国際交流が進んだまちと感じている（計）』は2割強

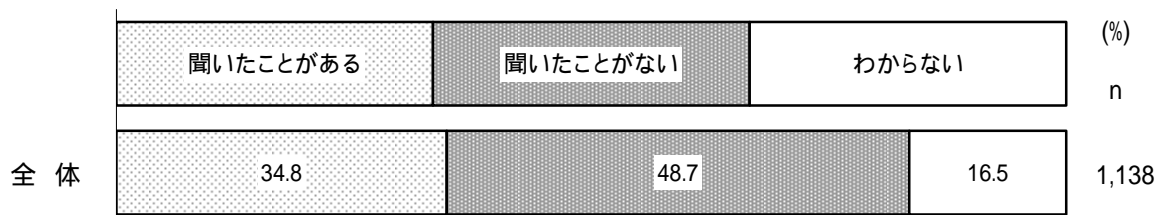


- ・ 全体で見ると、「あまり感じていない」（58.8%）が6割程度となっており、次いで「やや感じている」（18.8%）、「感じていない」（15.8%）が1割強となっている。
- ・ 「感じている」（3.7%）と「やや感じている」（18.8%）を合わせた『国際交流が進んだまちと感じている（計）』は2割強となっている。

## 7 自治会等の地域活動について

### 「地域力」の認知度

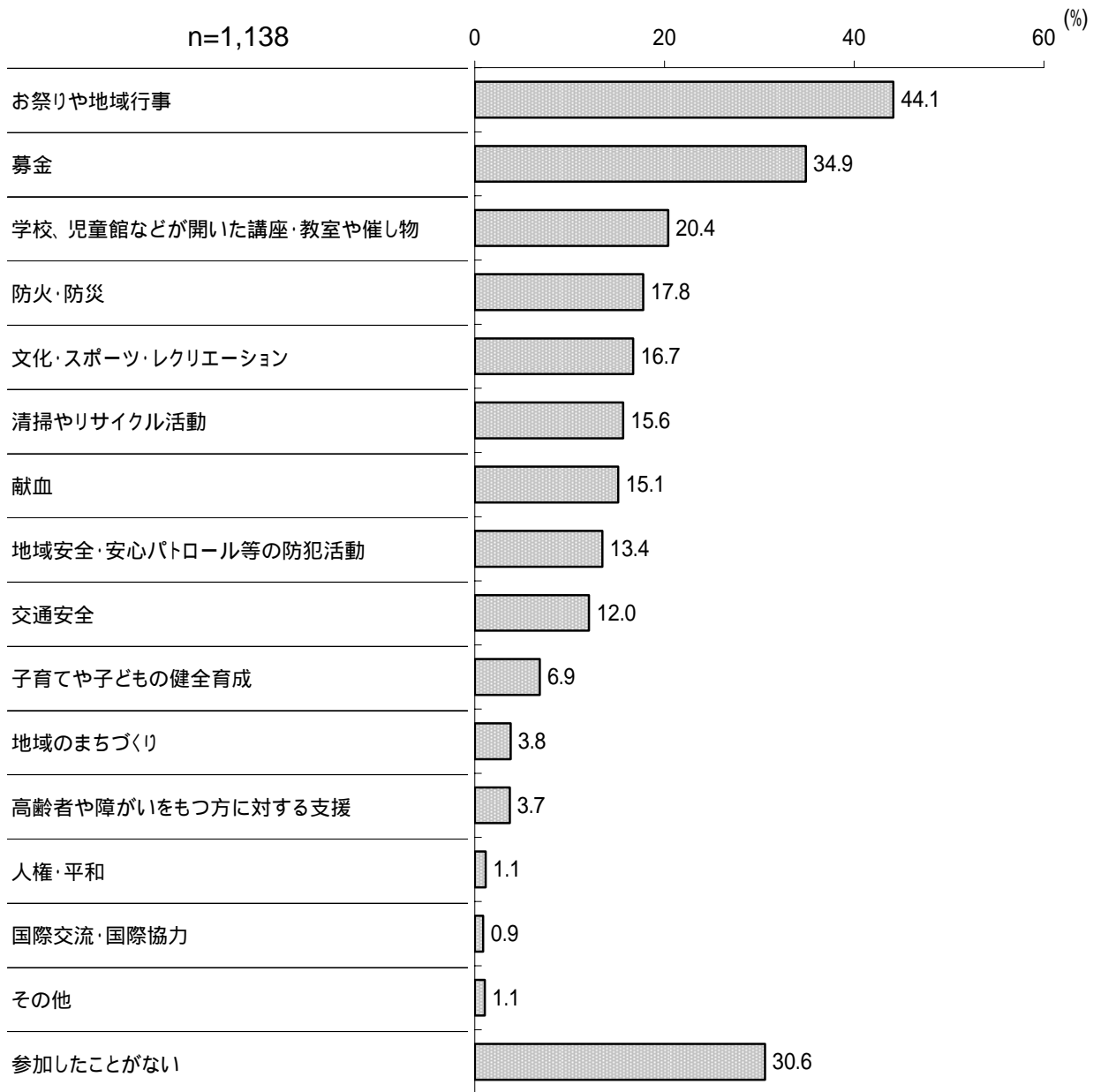
…「聞いたことがない」は約5割



- ・ 全体で見ると、「聞いたことがない」（48.7%）が最も高く、次いで「聞いたことがある」（34.8%）、「わからない」（16.5%）となっている。

## 参加したことがある地域活動

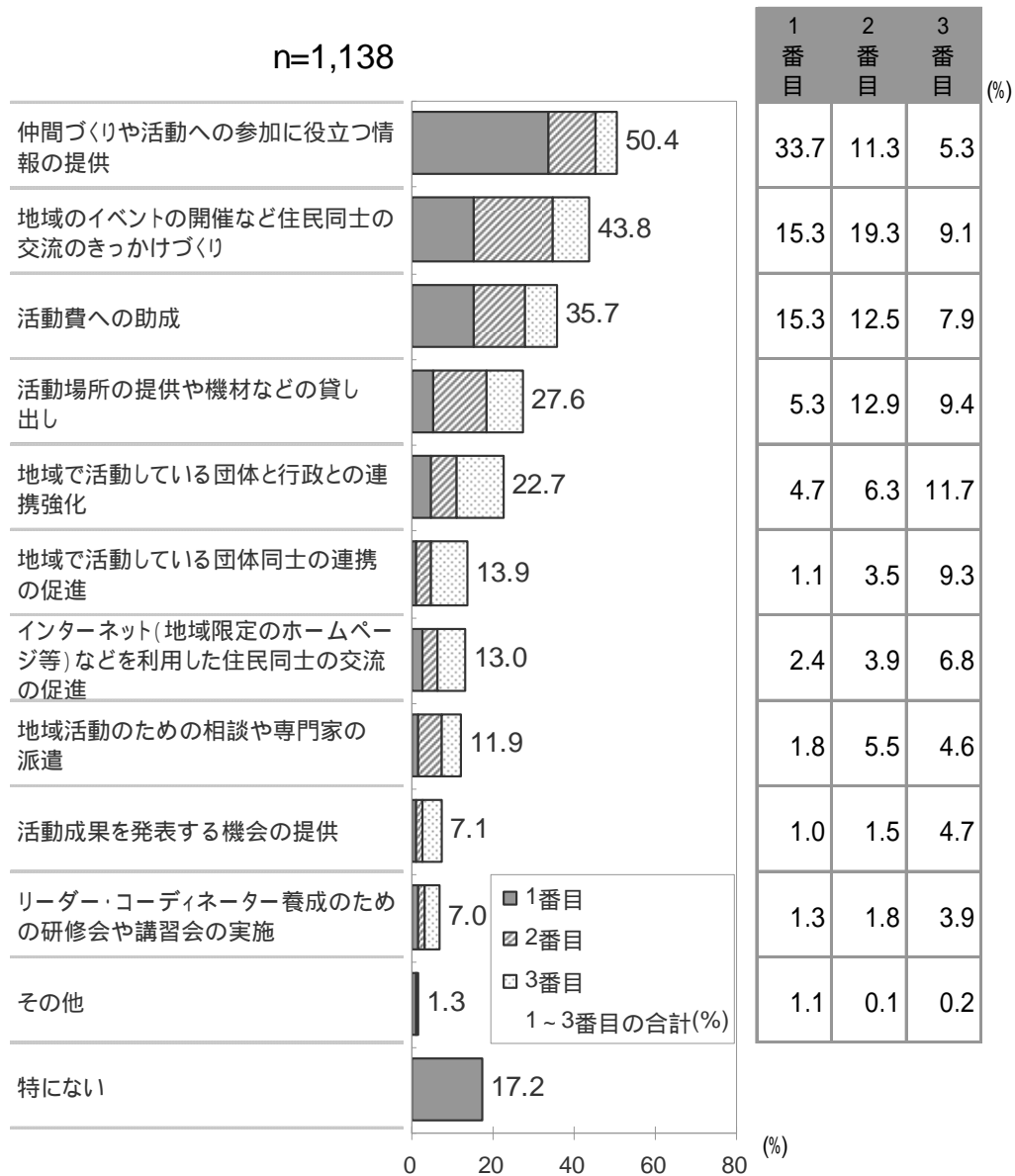
…「お祭りや地域行事」は約4割、「募金」は約3割



- ・ 全体で見ると、「お祭りや地域行事」（44.1％）が最も高く、次いで「募金」（34.9％）、「学校、児童館などが開いた講座・教室や催し物」（20.4％）、「防火・防災」（17.8％）となっている。
- ・ 一方、「参加したことがない」は3割となっている。

## 地域活動を活発にするために必要な支援

…「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」は、約半数の人が必要性を感じている

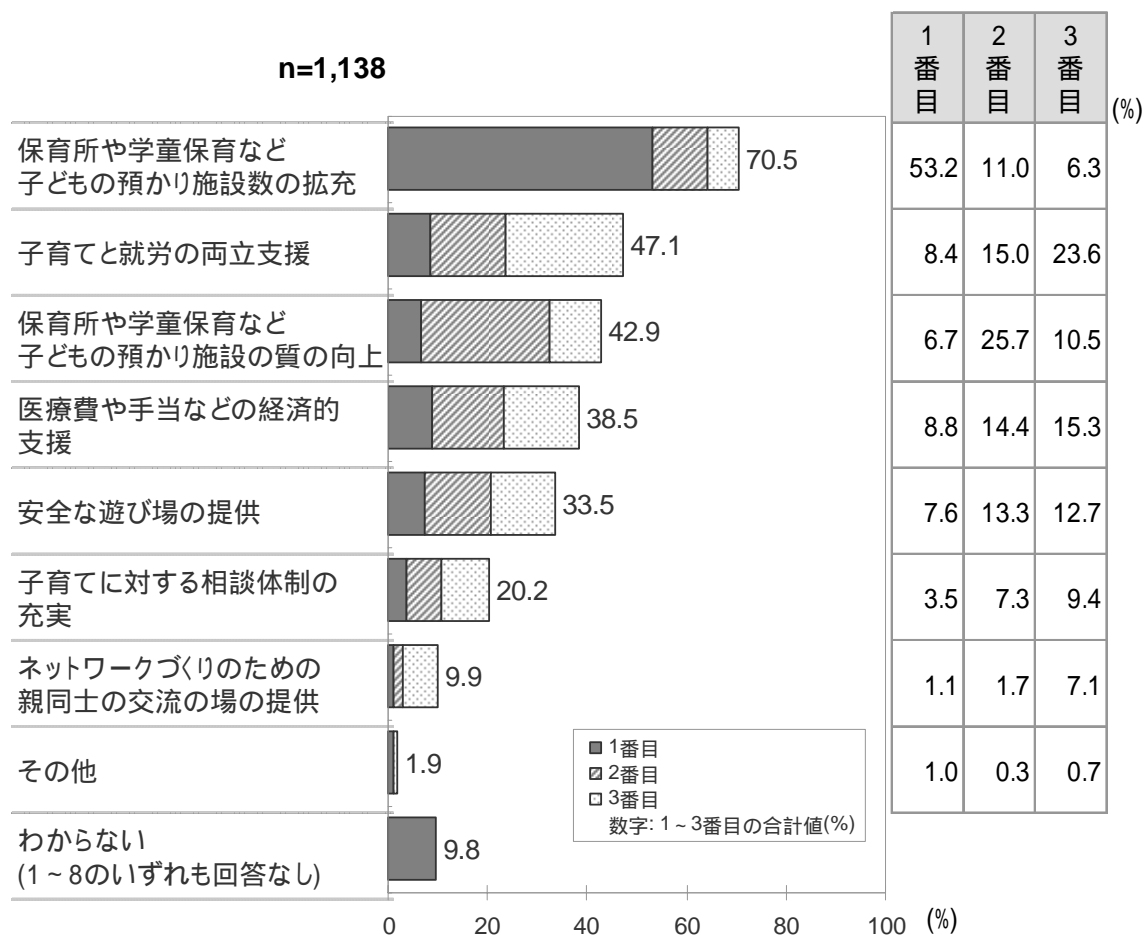


- 全体でみると、「仲間づくりや活動への参加に役立つ情報の提供」(50.4%)が最も高く、次いで「地域のイベントの開催など住民同士の交流のきっかけづくり」(43.8%)、「活動費への助成」(35.7%)、「活動場所の提供や機材などの貸し出し」(27.6%)の順となっている。

## 8 子育て関連施設の整備

### 子育て支援のために優先して取り組むべき施策

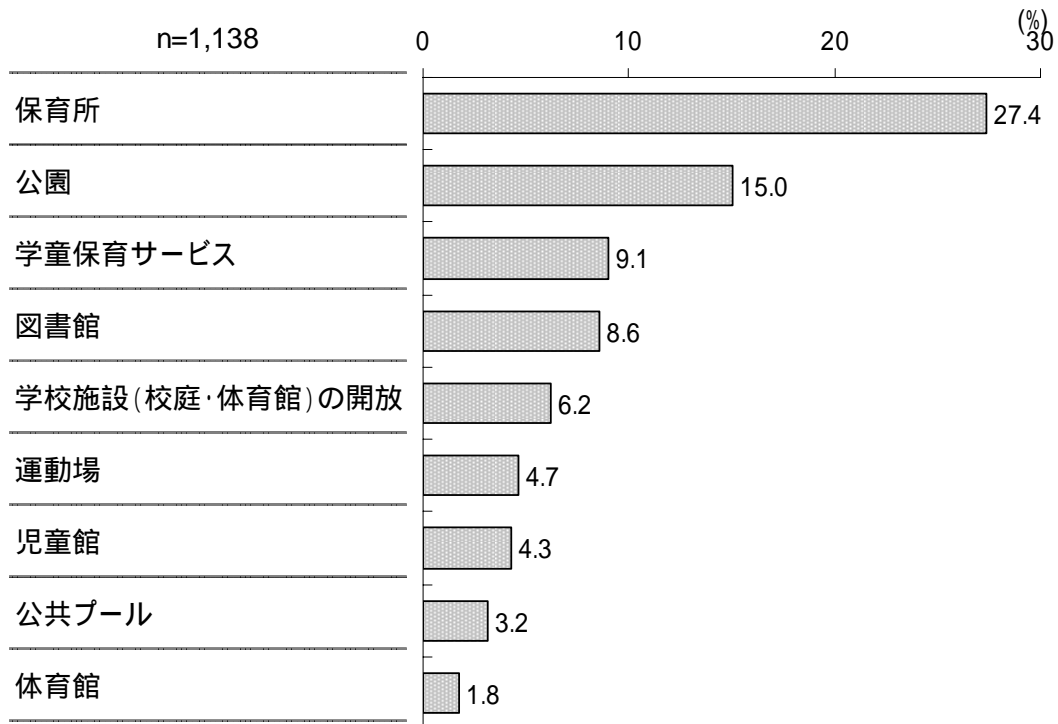
…「保育所や学童保育など子どもの預かり施設数の拡充」が7割



- ・ 「保育所や学童保育など子どもの預かり施設数の拡充」(70.5%)が7割を超え最も高く、次いで「子育てと就労の両立支援」(47.1%)、「保育所や学童保育など子どもの預かり施設の質の向上」(42.9%)、「医療費や手当などの経済的支援」(38.5%)の順となっている。

## 特に充実させてほしい子どもに関する施設やサービス

...「保育所」が3割近く

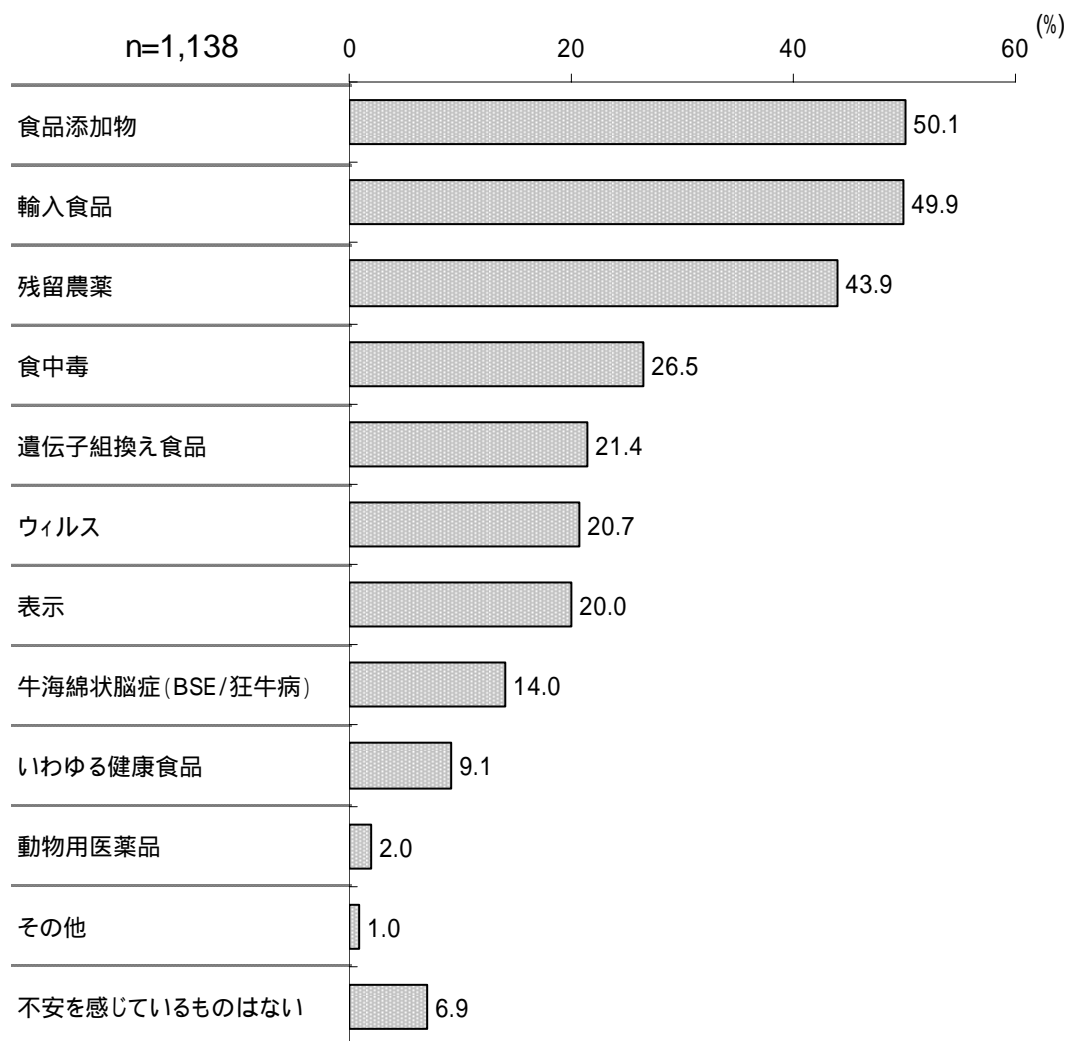


- 全体で見ると、「保育所」(27.4%)が3割近くと最も高く、次いで「公園」(15.0%)、「学童保育サービス」(9.1%)、「図書館」(8.6%)、「学校施設(校庭・体育館)の開放」(6.2%)などの順となっている。

## 9 保健・健康対策

### 食品の安全性について不安を感じること

…「食品添加物」に不安を感じる人は半数以上



- ・ 「食品添加物」(50.1%)が5割を超え最も高く、次いで「輸入食品」(49.9%)、「残留農薬」(43.9%)、「食中毒」(26.5%)の順が続いている。

## 10 交通安全対策

### 実践している交通安全対策

…「後部座席を含むすべての座席でシートベルトを着用している」を毎回実践しているのは全体の約4割

		毎回実践している	毎回は実践できていない	該当しない	(%)	n
自動車利用時	後部座席を含むすべての座席でシートベルトを着用している	41.2	26.3	32.5		1,138
	6歳未満のお子様には、チャイルドシートを使用している	11.7	3.3	85.1		1,138
自転車利用時	夜間は、反射材の活用や、目立つ色の服装をしている	21.4	38.7	40.0		1,138
	13歳未満のお子様には、ヘルメットを着用させている	5.3	9.7	85.1		1,138

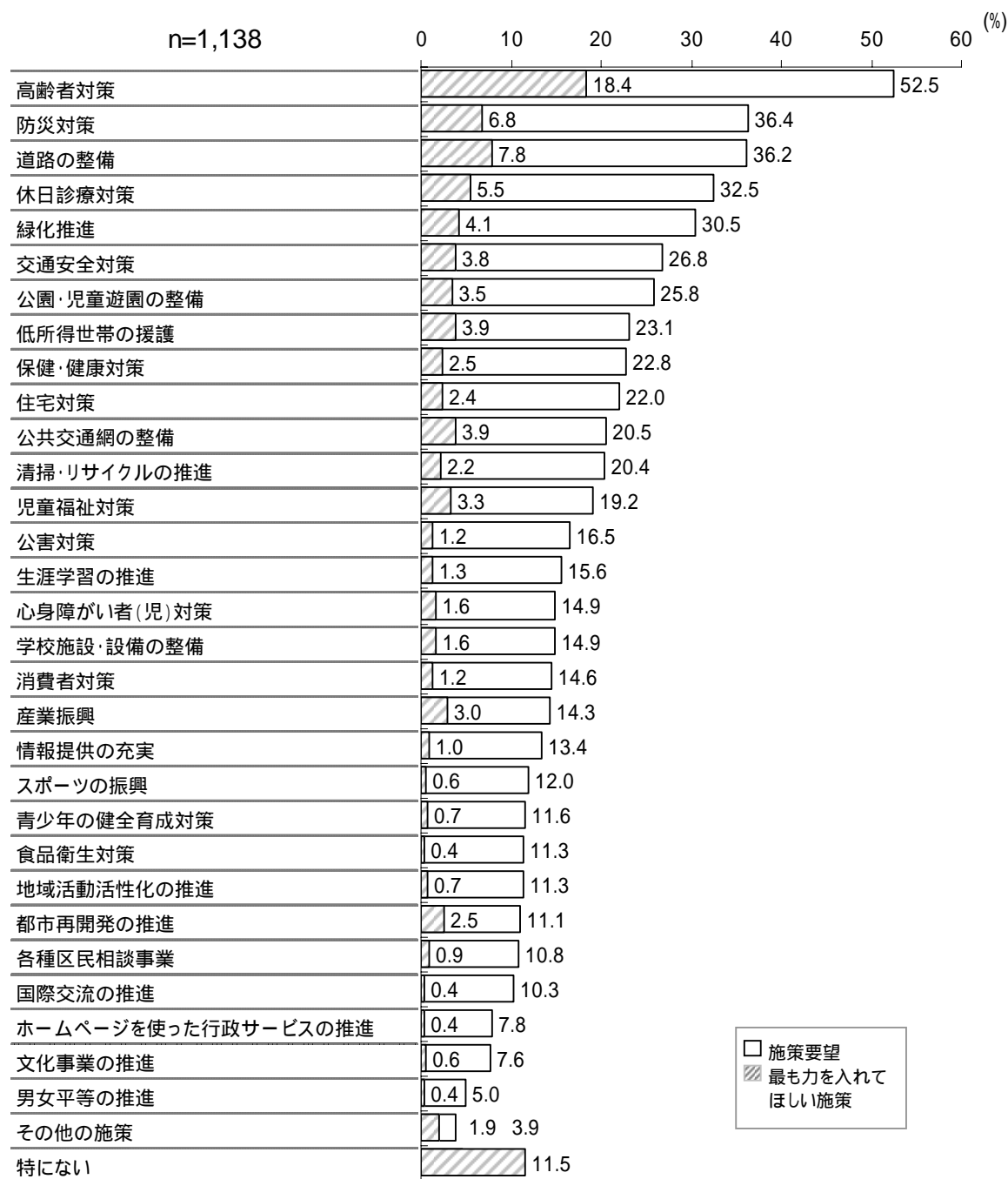
- ・「自動車利用時、シートベルトは後部座席を含む全ての座席で着用している」に関して、該当しない人を除くと「毎回実践している」は半数以上となっている。
- ・「6歳未満のお子様を自動車に乗車させる際は、チャイルドシートを使用している」に関して、該当しない人を除くと「毎回実践している」人は半数を大きく上回っている。
- ・「夜間の自転車利用時は、反射材の活用や、目立つ色の服装をしている」と、「13歳未満のお子様の自転車利用時には、ヘルメットを着用させている」に関しては、該当しない人を除くと「毎回実践している」人は半数以下と少ない。



# 11 特に力を入れてほしい施策

## 施策要望 / 最も力を入れてほしい施策

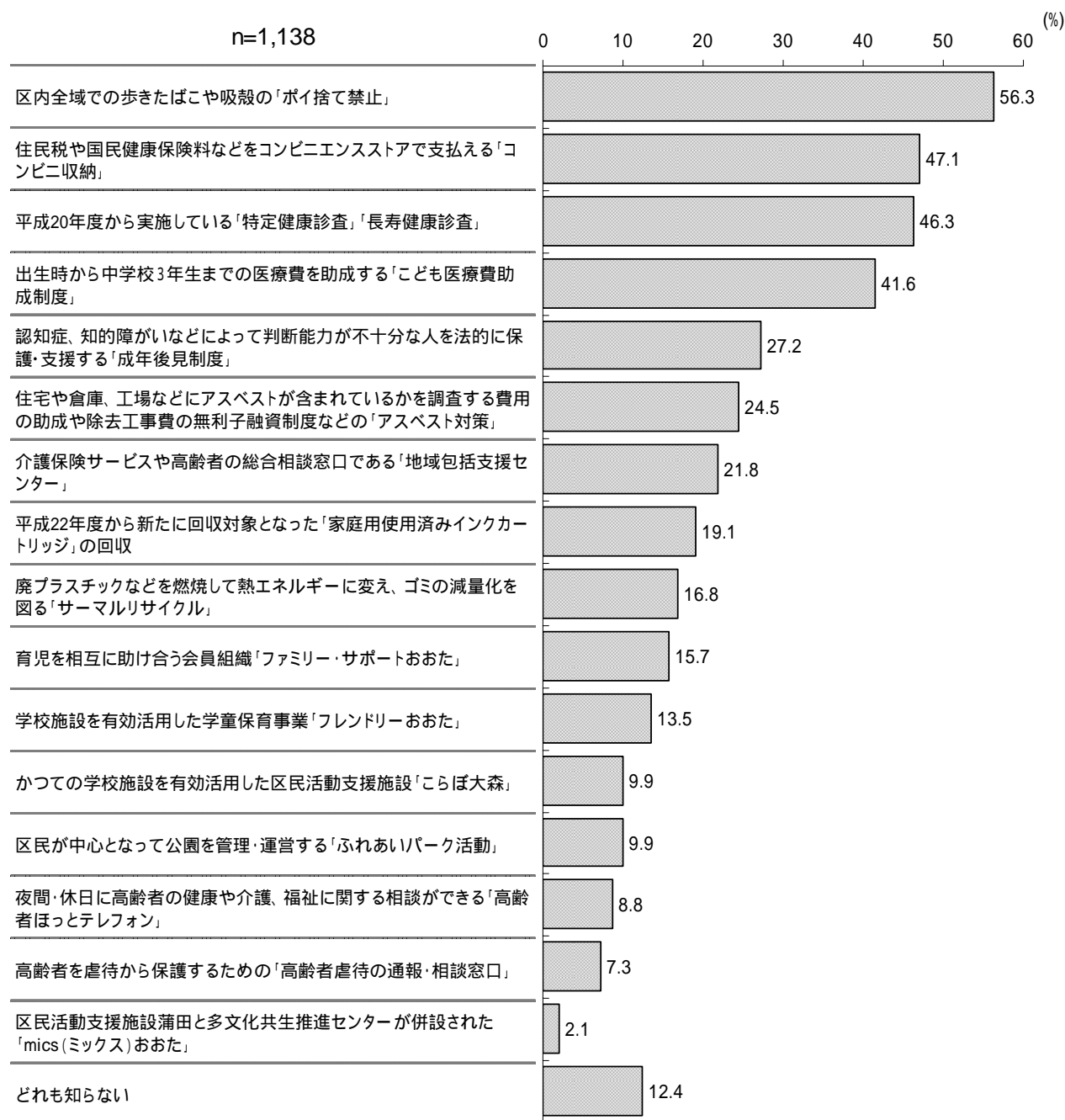
…「高齢者対策」に施策を求めているのは約5割



- ・ 最も高いのは「高齢者対策」(52.5%)で半数以上を占めている。次いで、「防災対策」(36.4%)、「道路の整備」(36.2%)と3割以上の項目が続く。
- ・ 最も力を入れてほしいと思う施策では、最も高いのは「高齢者対策」(18.4%)、次いで、「道路の整備」(7.8%)、「防災対策」(6.8%)の順となっている。

## 区の制度・施策・施設の認知度

…「区内全域での歩きたばこや吸殻の『ポイ捨て禁止』」の認知度は約6割

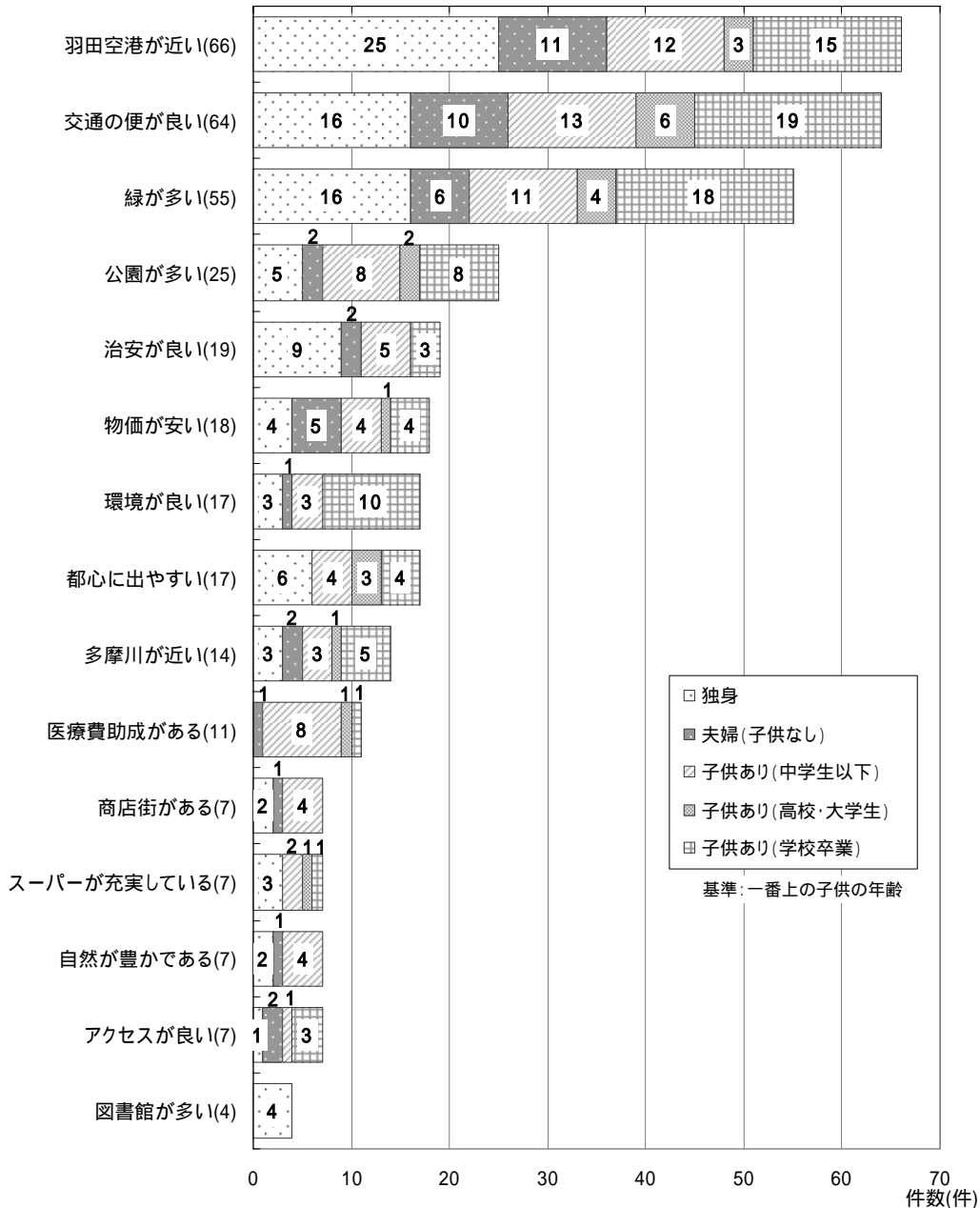


- ・ 「区内全域での歩きたばこや吸殻の『ポイ捨て禁止』」（56.3%）が5割強と最も高く、次いで「住民税や国民健康保険料などをコンビニエンスストアで支払える『コンビニ収納』」（47.1%）、「平成20年度から実施している『特定健康診査』『長寿健康診査』」（46.3%）、「出生時から中学校3年生までの医療費を助成する『子ども医療費助成制度』」（41.6%）と続いている。

# 大田区の好きなところ

...「羽田が近いから」、「交通の便がいいから」、「緑が多いから」がTOP3

## 【多かった話題の件数】



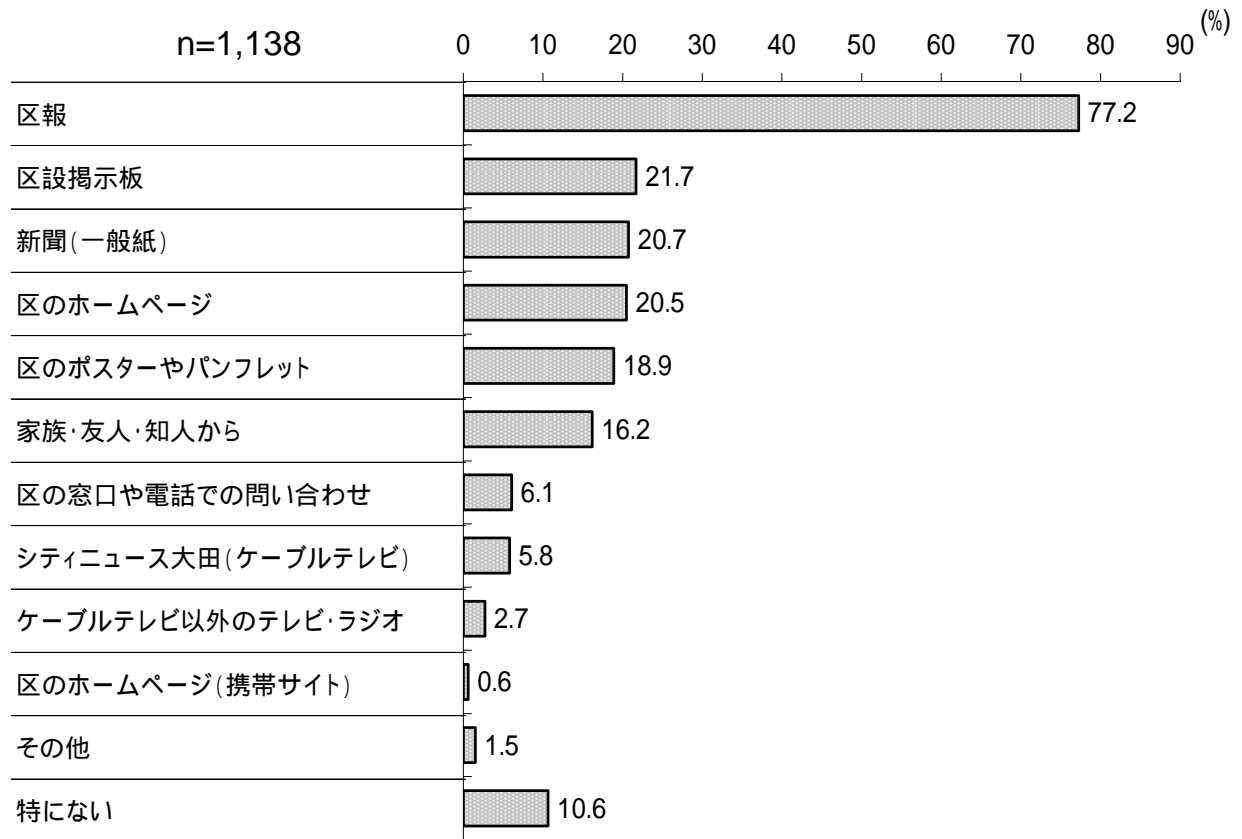
- ・ ライフステージ別にみると、全体で最も多い「羽田空港が近い」（66件）のうち、『独身』世帯の回答が25件と最も多い。

### 主なご意見

- ・ 交通(電車)の便又は、主要な道路に囲まれている事でとても利便性が良く、羽田空港が近くにある事は、かなりポイントが高い所です。<抜粋>(女性/40-49歳)
- ・ 交通網が良く都心、郊外へのアクセスが良い。<抜粋>(男性/70-74歳)
- ・ 東京でありながら、他の区と比べて、緑が多いと思う。(男性/20-29歳)
- ・ 都心に近い割には緑が多く、治安がよいと感じる。<抜粋>(女性/30-39歳)
- ・ 区の中に公園が多く、花にあふれた町だと思えます。東京の中でも空気と水がおいしく感じられました。(女性/60-64歳) など

## 区の情報を得る手段

…「区報」がほぼ8割

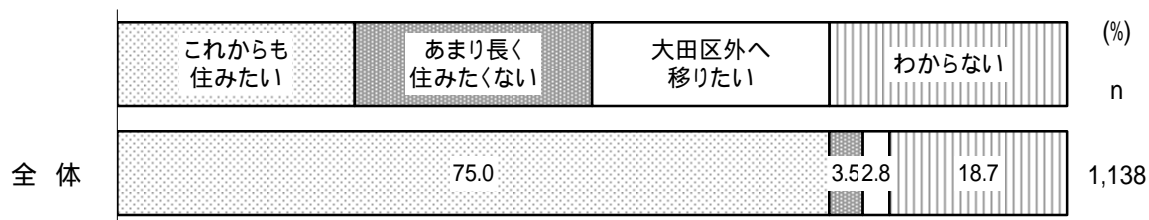


- ・ 全体で見ると、「区報」(77.2%)がほぼ8割と特に高く、次いで「区設掲示板」(21.7%)、「新聞(一般紙)」(20.7%)、「区のホームページ」(20.5%)、「区のポスターやパンフレット」(18.9%)、「家族・友人・知人から」(16.2%)などの順となっている。

## 12 定住性

### 定住意向

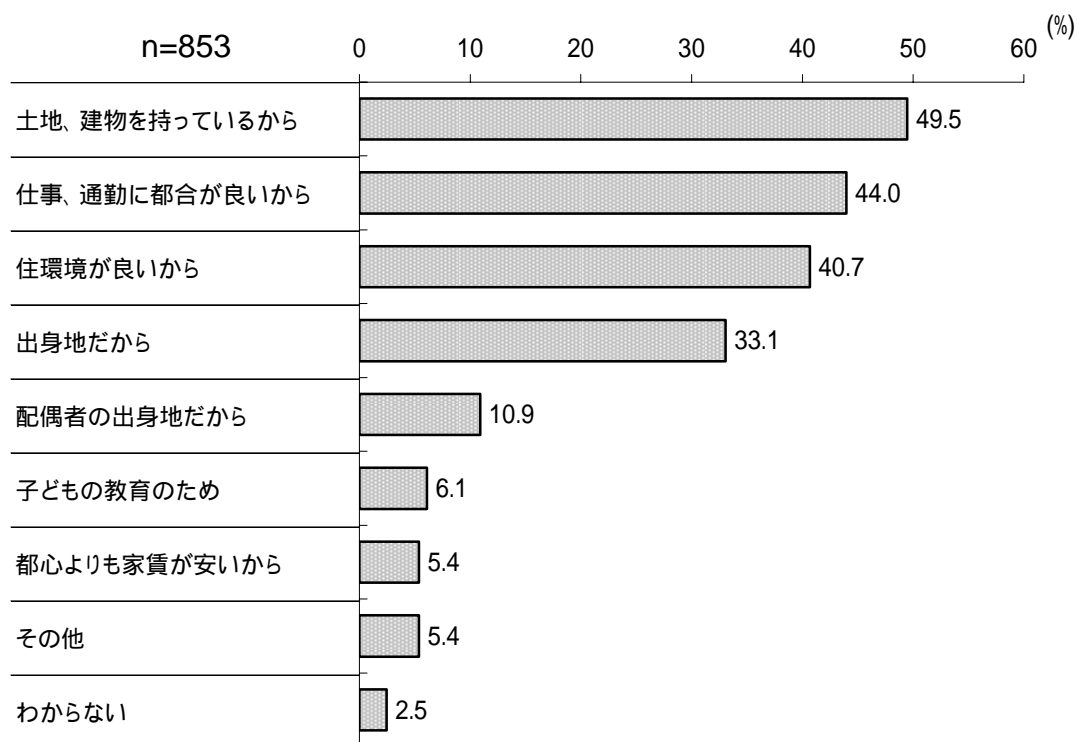
…「これからも住みたい」が7割強



- ・「これからも住みたい」(75.0%)が大部分を占めている。「あまり長く住みたくない」(3.5%)と「大田区外へ移りたい」(2.8%)を合わせた転出意向のある人は6.3%となっている。

### 住みたい理由

…「土地、建物を持っているから」が約7割



- ・「土地、建物を持っているから」(49.5%)が5割近くと最も高く、次いで「仕事、通勤に都合が良いから」(44.0%)、「住環境が良いから」(40.7%)、「出身地だから」(33.1%)の順で続いている。

大田区政に関する世論調査 概要版

平成 23 年 3 月発行

発行 大田区 経営管理部 区民の声課

東京都大田区蒲田5丁目 13 番 14 号

電 話:03 - 5744 - 1135

F A X:03 - 5744 - 1504